

みどりの教室(千葉県緑化推進委員会主催)

森と自然を活用した遊び（自然体験） 落ち葉・ドングリ・秋を遊ぶ

晝間 初枝（四街道市）

日 時：2024年11月16日（土）10:00～15:00 天候：晴れ

参加者：11名、千葉県森林課職員1名、緑化推進委員会職員3名

担当指導員：晝間（講師） 尾澤・平田（補助スタッフ）

県内の幼稚園や保育園の先生方を対象とした「みどりの教室」、今年は秋の実施となりました。紅葉、ドングリ、秋が深まる緑化推進拠点施設で野外と屋内での体験実習を行いました。

屋外に出たところで「ハチ（絵）がいる、どうしよう？」対処法を話し合い、ハチを避けて移動したところで五感を使って身近なものを見つけるトレーニングを行いました。

自然体験1：秋探しわくわく探検

ようやく秋らしくなってきた施設内の散策路を歩いて、落ち葉やドングリを拾い集めました。マテバシイ、ウラジロガシ、ウバメガシ、ピンオーク…何と9種類のドングリがありました。落葉したカツラの葉の甘い香りを嗅いだり、黄葉のユリノキの葉、鮮やかなサルスベリの葉など袋いっぱいに「秋」を詰め込みました。



自然体験2：落ち葉と遊ぼう

落ち葉でじんけん遊びをした後は、両手いっぱいに抱えた落ち葉を芝生に広げてアートの世界へ。思い思いのイメージをダイナミックに表現していました。次はアートを崩して落ち葉の道作り、10、20、30m…長い長い道を作り、踏みしめながら落ち葉の音や感触を味わいました。そのあとは道の落ち葉を数か所にまとめて、大小の山を作り飛び越して遊びました。雪合戦ならず落ち葉合戦、2チームに分かれて落ち葉を拾っては投げ…童心に帰って夢中になって遊び満足気でした。芝生に散った落ち葉をシートに乗せて片付ける前にもうひと遊び、落ち葉のバルーンで落ち葉飛ばし、ようやく元の大きい袋に葉っぱを収めました。



午後は、「自然体験の意義と安全性」についてパワポで説明、リスクやハザードについても確認いたしました。

自然体験3：自然素材で遊ぶ

きれいな葉を取りつけた糸2本を小枝に結び、バランスをとってモビールを作りました。ロープに取付けると室内が一気に秋模様、もう一つ、それぞれの形を切り抜いた黒い台紙の裏に葉を貼り付け落ち葉の窓を作り飾りました。最後にドングリゴマを作って遊びました。



参加された皆さんと一緒に楽しく遊ぶことができました。